

# 《 患者の皆様へ 》

2020年 6月 1日

脳神経外科

現在、脳神経外科では、水頭症患者様の脳神経伝達の評価に関する研究を行っています。この研究では水頭症に対してMRI検査で拡散強調画像を撮像させて頂いた患者さんの診療情報などを利用させていただきます。診療情報などがこの研究で何のために、どのように使われているのかについて詳しく知りたい方は、下記の窓口にご連絡ください。

## 1. 研究課題名

「MRIを用いた拡散強調画像、マルチコントラストによる脳機能評価：後方視的研究」

## 2. 研究の意義・目的

脳機能解析やニューロイメージングは日々進歩しています。脳神経の描出を目的としたDiffusion tensor imaging (DTI) は脳内水分子の拡散方向から神経の方向を推定し脳神経の走行を描出することが出来ます。現在、当院でも正常圧水頭症をはじめとした腫瘍性疾患ではない脳疾患、またはその疑いに対してもMRI検査を施行しています。これらの検査ではコントラストや形態の変化を主に評価しています。しかしその全てに明確な画像所見を得られるわけではありません。よって今回、当科では疾患脳に対し、拡散強調画像による極めて詳細な解析をし、解剖学的構造評価であるマルチコントラスト画像を解析評価に加えることで、新たな機能情報としてのイメージングバイオマーカーの取得が可能であると考えました。本研究は、DTI、マルチコントラストMRIを用いて解析を行い白質疾患や灰白質への神経伝達の評価を目的としています。病態に関する新たな情報を得ることが出来る可能性もあり臨床的意義が極めて高い検討であると考えています。

## 3. 研究方法・研究期間

本研究では、患者さんのカルテからデータを集積し解析を行います。

研究期間：倫理審査委員会承認後 ～2023年 3月 31日

## 4. 個人情報の取り扱いについて

本研究で得られた個人情報は、外部に洩れることのないように厳重に管理します。研究成果の発表にあたっては、患者さんの氏名などは一切公表しないこととします。データ等の管理は、匿名化の上に千葉県済生会習志野病院の鍵のかかる棚で保管します。

## 5. 研究に診療情報などを利用して欲しくない場合について

ご協力頂けない場合には、原則として結果の公開前であれば情報の削除などの対応をしますので、下記の窓口にご遠慮なくお申し出ください。

文部科学省・厚生労働省による「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」に基づいて掲示を行っています。

## 6. 本件のお問合せ窓口 社会福祉法人<sup>恩賜</sup>財団<sup>財団</sup>済生会 千葉県済生会習志野病院

診療科名：脳神経外科 診療科責任者氏名・職名：村井 尚之・副院長 脳神経外科部長

主治医(担当医)名：同上

電話番号：047-473-1281